

序

東日本大震災から 11 年が経過した令和 4 年度は、未だ多くの子どもたちが避難先の学校で学習活動が続けるなど、震災に起因する課題が山積しています。さらに、新型コロナウイルス感染拡大防止対策により、学習活動や学校行事等で多くの制約がありました。

一方で、ICT活用指導力の向上を通してICT教育を推進するとともに、地域と協働した地域課題探究活動の充実や、個別支援教育の充実を図ることで、子どもたちにとってより良い教育環境と誰一人取り残さない包摂性のある持続可能な教育環境の整備に努めてきたところです。

このような中、県教育委員会では「学びの変革」を柱に掲げ、「第7次福島県総合教育計画」（令和4年度～令和12年度）を展開するとともに、その年次計画である「学びの変革推進プラン」の6つの施策に取り組みました。また、県立高等学校改革前期実施計画（2019年度～2023年度）に基づき、高等学校普通科の特色化の一環としてコース制を導入し、職業観や基礎的な素養を養い、目的意識の高揚を図っております。さらに、令和5年2月には、教育活動の特色・魅力を明確にするために、各高等学校の存在意義や教育理念、育成すべき人物像や期待される社会的役割等を明確にした「スクール・ミッション」を策定しました。「学びの変革」とともに「学校の在り方の変革」を進めることで学校の力を最大化させ、福島の良さを大切にしたい「福島ならではの」教育を充実させることで、今後も社会や地域を創造できる人材の育成に努めてまいります。

さて、本教育年報は、令和4年度における教育に関する施策概要や事業実績等を収録しており、本県教育行政を一望できる資料として、また、本県の過去の教育行政を現在まで伝える貴重な資料として、教育関係者のみならず、多方面の方々に広く御利用いただいているところです。

今後も本書が、教育施策を推進する上での参考資料として広く活用され、本県教育振興の一助となりますことを願っています。

令和5年11月

福島県教育委員会

※ 本書は、旧字体等（機種依存文字）が用いられている場合、常用漢字で表記しています。また、敬称は省略しています。